

下鼻甲介化学剤（トリクロール酢酸）手術について

アレルギー性鼻炎で内服薬や点鼻薬の効果が乏しい方、鼻づまりのひどい方に、当院では、鼻粘膜の最も広い部分（下鼻甲介）にトリクロール酢酸という薬剤を塗布する治療方法を始めました。治療時間は麻酔も含めて20～30分、費用は3割負担で5000円前後です。詳しい内容についてお知らせします。

* どのような人が対象になりますか？

アレルギー性鼻炎、肥厚性鼻炎など、主に鼻づまりでお困りの方が対象です。

* 治療の時期は？

鼻水が多いと手術が出来ないため、アレルギー性鼻炎（いわゆる花粉症）の方は、症状のない夏から冬（花粉が飛ぶ前）に、通年性アレルギー性鼻炎の方は、症状が落ち着いている時期を選んで行います。

* どのような治療方法ですか？

まず、血圧測定などを行い、体調がよいことを確認させていただきます。次に、両鼻の中に麻酔薬をしみ込ませた綿を入れ、10分ほど置きます。その後、綿を抜き、トリクロール酢酸を綿棒で両側の下鼻甲介に塗っていきます。所要時間は1～2分です。塗った後、少しピリピリした痛みが生じることがありますが、短時間で治まります。特に気分がお悪くなければ、鎮痛剤などを処方させていただきます、帰宅して頂きます。

* 治療後の注意点は？

当日は、鼻をかんだり、強くすすったりしないようにして下さい。翌日から約2週間は気が付いたら鼻をかむようにして下さい。手術から約1週間後に鼻の状態を診せて頂きますので、来院して下さい。

* 効果はどのくらいありますか？

他施設のデータによると、鼻づまり：72%、くしゃみ：60%、鼻水：50%の改善があり、数年ほど持続すると言われています。従来のレーザー治療が毎年手術を必要としたことを考慮すると、比較的長持ちすると思われます。ただし、効果には個人差がありますので、内服薬や点鼻薬を併用する必要がある方もあります。

* どうして効くのですか？

トリクロール酢酸を鼻の粘膜に塗ると、粘膜のごく表面だけが壊されます。その後、新しく粘膜が作られる時には、今までにあった粘膜と性質が異なるものが出来てきます。この新しい粘膜は、アレルギー反応を起こしにくい特徴があるということが分かっています。

* 手術が出来ない人は？

鼻の中が極端に狭く、綿棒が入らないような人は対象になりません。具体的には、鼻中隔彎曲（わんきょく）症といって、鼻の左右を分ける中央の壁が左右どちらかに強く曲がっている方や、小児でまだ鼻の中が狭い方、全身状態の悪い方、麻酔の薬にアレルギーのある方等です。診察の際にご相談下さい。